

グリーンイノベーション戦略協議会の動きについて

戦略協議会のミッション

- 科学技術イノベーション政策に関し、課題達成の観点から、府省の枠組みを超えて**国として推進すべき戦略、取組み内容案を具体化**
- イノベーションを実現するために必要な**システム改革(規制・制度改革、導入促進策等)**に関し**具体的に提案**
- 協議結果は、**科学技術重要施策アクションプラン**としてとりまとめ、科学技術イノベーション政策の実行に具体的に反映
- 産学官の連携を通じ、戦略の検討から実行に至る**PDCAサイクルを実施**
- 多様で幅広い関係者による、**連携・協力のプラットフォーム**を形成

期待される成果

科学技術イノベーション政策推進専門調査会への提案

- **科学技術重要施策アクションプラン原案**
- **必要なシステム改革(規制・制度改革、導入促進策等)**

設置する戦略協議会

復興・再生
戦略協議会

東日本大震災による深刻かつ広範な影響を早期に軽減・緩和し、力強い復興・再生を実現するため、科学技術イノベーションを強力に推進し、産業の再生、社会インフラの再構築を目指す

グリーンイノベーション
戦略協議会

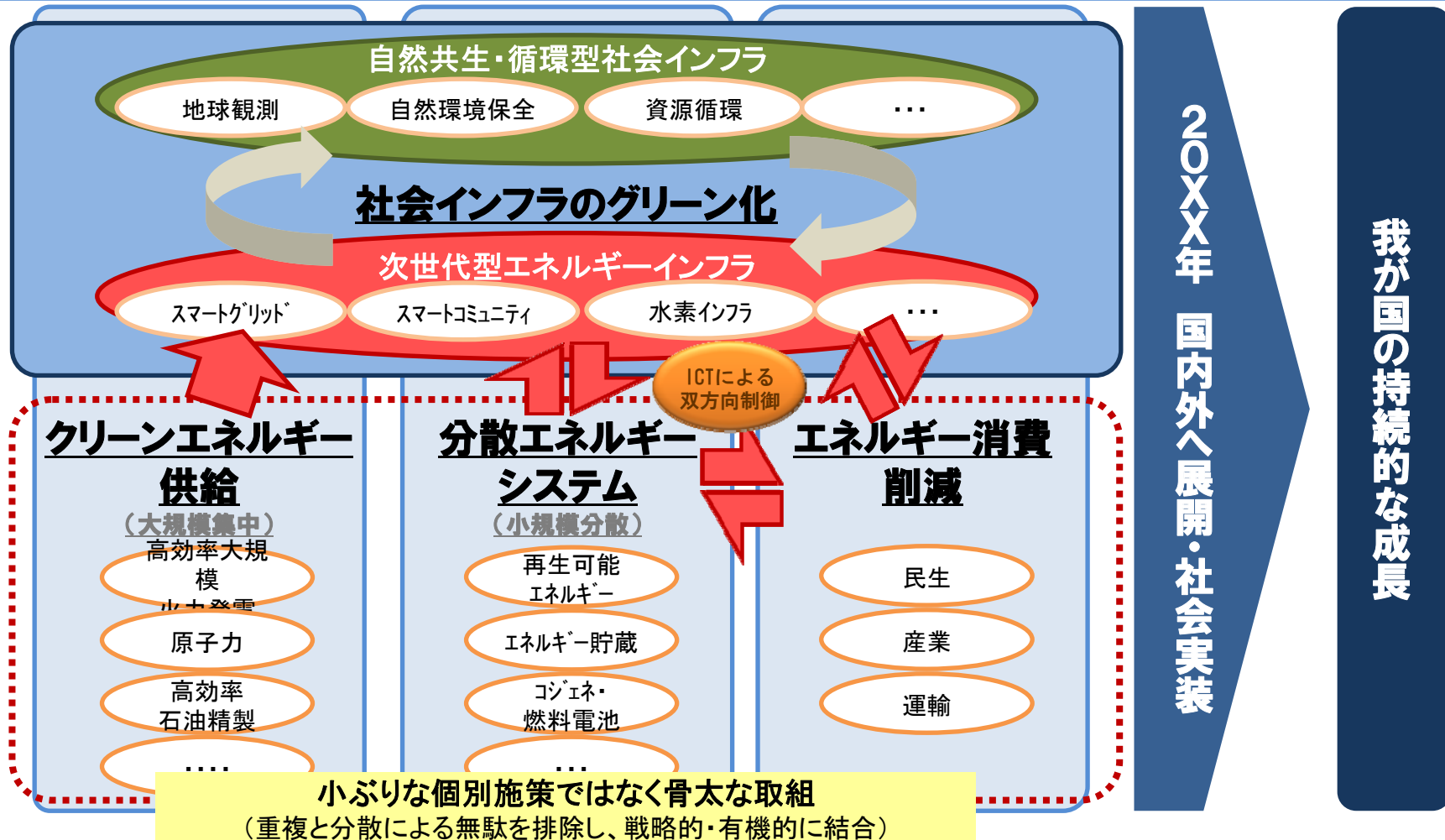
地球規模の気候変動への対応とエネルギーの安定確保という二つの課題に対応するため、グリーンイノベーションを強力に推進し、世界に先駆けた環境・エネルギー先進国の実現を目指す

ライフイノベーション
戦略協議会

国民が心身ともに健康で、豊かさや、生きていることの充実感を享受できる社会を実現するため、ライフイノベーションを強力に推進し、医療・介護・健康サービス等の産業の創生・活性化を目指す

平成25年度アクションプランの骨格(叩き台)

- 世界に先駆けた環境・エネルギー先進国に向けた「政策課題」の体系は以下でよいか。
- イノベーションが経済的・社会的・公共的価値の創造に結びつく革新であることを踏まえ、産業化、社会実装の観点が重要ではないか。
- 社会インフラのグリーン化を『実装化される生活の場(まち、コミュニティ等)』として産業化への横断的な役割を担うという考え方もあるのではないか。



第4期科学技術基本計画ーグリーンイノベーションの推進ー

(1) 目指すべき成長の姿	<p>エネルギーの安定確保と気候変動問題への対応は、喫緊の課題であり、国としてグリーンイノベーションを強力に推進。</p> <ul style="list-style-type: none">・環境・エネルギー技術の一層の革新の促進、エネルギー供給源の多様化と分散化、エネルギー利用の革新に向けた社会システム・制度改革、長期的に安定的なエネルギー需給構造の構築と世界最先端の低炭素社会の実現・技術やシステムの国内外への普及・展開の推進し、世界に先駆けた環境・エネルギー先進国の実現・持続可能な自然共生社会や循環型社会の実現と豊かな国民生活の実現
(2) 重要課題達成のための施策の推進	
i) 安定的なエネルギー供給と低炭素化の実現	<p><再生可能エネルギーの普及の大幅な拡大に向けた革新技術の研究開発></p> <ul style="list-style-type: none">・太陽光発電、バイオマス利用、風力発電、小水力発電、地熱発電、潮力・波力発電等の技術の飛躍的な向上・新たなブレイクスルーとなりえる革新的技術の獲得と戦略的な推進(宇宙太陽光発電、藻類バイオマスなど)・それぞれの技術の特徴や地域の特性に応じた海外展開 <p><分散エネルギーシステムの革新を目指した技術開発></p> <ul style="list-style-type: none">・燃料電池や蓄電池等のエネルギー創出・蓄積システム、製造・輸送・貯蔵に渡る水素供給システム、超電導送電の研究開発推進・エネルギーマネジメントに関する研究開発及び自立分散エネルギーシステムの研究開発の促進、海外展開 <p><基幹エネルギー供給源の効率化と低炭素化></p> <ul style="list-style-type: none">・火力発電の高効率化、高効率石油精製、石炭ガス化複合発電等と二酸化炭素の回収・貯蔵を組合せたゼロエミッション火力発電の実現に向けた研究開発・原子力に係る安全及び防災研究、放射線モニタリング、放射性廃棄物や汚染水の除染や処理、処分等に関する研究開発の推進
ii) エネルギー利用の効率化及びスマート化	<p><製造部門における化石資源の一層の効率的利用></p> <ul style="list-style-type: none">・製鉄等における革新的な製造プロセス、材料の高機能化、グリーンサステイナブルケミストリー、バイオリファイナリー、革新的触媒技術に関する研究開発の推進 <p><民生(家庭、業務)及び運輸部門の一層の低炭素化、省エネルギー化></p> <ul style="list-style-type: none">・住宅及び建築物の高断熱化、家電及び照明の高効率化、高効率給湯器(コジェネレーション、次世代型ヒートポンプシステム)、定置用燃料電池、パワー半導体、ナノカーボン材料等の技術に関する研究開発、普及の促進・次世代自動車に用いられる蓄電池、燃料電池、パワーエレクトロニクスによる電力制御等のエネルギー利用の革新を目指した研究開発、普及の促進 <p><情報通信技術></p> <ul style="list-style-type: none">・次世代の情報通信ネットワークに関する研究開発、情報通信機器やシステム構成機器の一層の省エネルギー化、ネットワークシステム全体の最適制御に関する技術開発の推進
iii) 社会インフラのグリーン化	<p><環境都市の構築></p> <ul style="list-style-type: none">・高効率な交通及び輸送システムの構築に向けた研究開発の推進・社会インフラ(電力、ガス、水道、交通等)と一体となった巨大ネットワークシステムに関する研究開発の推進・総合水資源管理システムの構築に向けた研究開発・普及・拡大に向けた統合システムとしての国際展開の推進 <p><地球観測、予測、統合解析></p> <ul style="list-style-type: none">・地球観測、予測、統合解析に関する技術力の強化、情報の多様な領域での活用の推進・気候変動や大規模自然災害に対応した都市や地域の形成、自然環境や生物多様性の保全、森林等における自然循環の維持、自然災害の軽減、持続可能な循環型食料生産の実現に向けた取組の推進